

アシスト・ジャパン、CVi インジェクションシステムおよび ACIST アンギオグラフィックキットの直接販売を開始

アシスト・ジャパン株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：大澤 潤一、以下アシスト・ジャパン）は、2017年6月1日より自動造影剤注入装置のACIST-CVi インジェクションシステム（以下CVi）およびAngioTouch®ハンドコントローラーを含むアンギオグラフィックキット（以下アンギオキット）の直接販売を開始することとなりましたので、お知らせ致します。

CVi および従来モデルのインジェクションシステムは2002年からディーブイエックス株式会社が国内独占販売代理店として「ACIST」という製品名で販売して参りましたが、この度のアシスト・ジャパンによる日本市場への本格参入に伴い、2017年1月1日より販売・マーケティング及びアフターサービスを含む日本におけるビジネスを引き継ぐべく移行実施計画を両社間で進め、この度直接販売体制が整いました。

CVi は冠動脈への少量造影剤注入から左心室・末梢血管系への大量造影剤注入まで幅広いインターベンション領域、血管造影を簡素化できるシステムです。また、CVi の使用により、造影剤量の低減、手技時間の短縮と放射線被曝の低減につながると思われるデータも学術論文などにて報告されております。

CVi には二つのモーターが組み込まれており、一つは造影剤注入に用いられ、もう一つは生理食塩水によるフラッシングに用いられており、それぞれ内蔵のコンピューターにより制御されます。さらに造影剤注入用モーターには位置検出と速度検出センサーが組み込まれており、センサーからの信号がコンピューターで処理され、速度と位置を監視する仕組みとなっています。

この度のCVi 直接販売開始に際し、アシスト・ジャパン、代表取締役社長 大澤 潤一は「2002年の上市以来、CVi および従来モデルのインジェクションシステムはこれまで多岐にわたる診断及び治療の用途で使用され、日本の心血管インターベンション領域におけるインジェクションシステムとして多くのお客様にご使用いただいております。この実績をもとに今後は弊社がIVUSシステムやFFRシステムと共に血管内イメージングとフィジオロジーの分野でも市場を広げ、インターベンションおよび診断の手技の簡便化につながるソリューションを医師、及び患者さんにご提供できるよう日々邁進していく所存です」と述べております。



アシスト・ジャパン株式会社について

アシスト・ジャパン株式会社（以下、アシスト・ジャパン）は世界初のラピッドエクステンジ FFR 及び高解像度 IVUS システムを含む先進的な製品ポートフォリオを持つ先駆的なインターベンション及び診断技術企業で心血管系の血管造影及び放射線イメージングの高度コントラストイメージングシステムにおける世界的なマーケットリーダーでもある ACIST Medical Systems 社を親会社に持ち、これらの製品を通じて心血管系の手技を簡素化し、医師の優れたケアで患者さんの治療を促進する独自かつ革新的な技術に取り組んでおります。

ACIST は Bracco Group の一員としてカテラボ技術に関する広範な専門知識を備え、継続的な発展に尽力する多国籍コングロマリットの資源から恩恵を受けています。

ACIST についてのより詳しい情報をお知りになりたい方は、www.acist.com をご覧ください。

Bracco Group について

Bracco は 1927 年に設立され、イタリアのミラノに本社を置いています。同社は Bracco Imaging（診断用イメージング）、Pharma（処方薬及び一般用医薬品）、ACIST Medical Systems 及び HLT（カーディオロジー）、Centro Diagnostico Italiano 診断クリニックを通じて、ヘルスケア分野で活躍しています。従業員は約 3,400 人で、世界 100 ヶ国以上で事業を展開しており、年間連結総売上高は 13 億ユーロを超えます。

Bracco Group についてのより詳しい情報をお知りになりたい方は、www.bracco.com をご覧下さい。

本件に関するお問合せ

アシスト・ジャパン株式会社

マーケティングコミュニケーション

河合 佐知子

電話：03-6902-9520

FAX：03-6902-9249